



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 アツギ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日光 信二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 古川 雅啓 TEL 046-235-8107
定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2025年6月27日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	21,880	3.2	△930	—	△233	—	△376	—
2024年3月期	21,209	3.4	△425	—	△51	—	1,331	—

(注) 包括利益 2025年3月期 △1,776百万円 (—%) 2024年3月期 2,500百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	△23.49	—	△1.2	△0.6	△4.3
2024年3月期	83.12	—	4.1	△0.1	△2.0

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 -百万円 2024年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	40,847	31,662	77.5	1,976.74
2024年3月期	42,014	33,441	79.6	2,087.43

(参考) 自己資本 2025年3月期 31,662百万円 2024年3月期 33,441百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	415	719	53	5,354
2024年3月期	△1,344	456	△472	3,850

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	5.1	100	—	150	—	100	—	6.24

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) -

除外 2社 (社名) 煙台厚木針織有限公司、厚木靴下 (煙台) 有限公司

(注) 詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：有

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

2025年3月期	17,319,568株	2024年3月期	17,319,568株
2025年3月期	1,301,997株	2024年3月期	1,299,322株
2025年3月期	16,018,867株	2024年3月期	16,021,860株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	14,111	2.9	△931	—	397	—	297	△25.3
2024年3月期	13,707	2.5	△570	—	△156	—	398	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	18.57	—
2024年3月期	24.85	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭		
2025年3月期	36,285	29,698	29,698	81.8	1,854.10			
2024年3月期	37,977	30,732	30,732	80.9	1,918.35			

(参考) 自己資本 2025年3月期 29,698百万円 2024年3月期 30,732百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	13
(会計方針の変更に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報の注記)	17
(重要な後発事象の注記)	17
4. 個別財務諸表	18
(1) 貸借対照表	18
(2) 損益計算書	20
(3) 株主資本等変動計算書	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化や、所得環境の改善等により、緩やかな回復傾向が続いております。その一方で、不安定な国際情勢や、外国為替相場の円安基調等による資源・エネルギー価格の高騰、これらを背景とした物価上昇等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、インバウンド需要に支えられ、市況は堅調に推移しているものの、物価上昇の長期化による消費者の生活防衛意識や節約志向は根強く、予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、2023年3月期から2025年3月期までを実行期間とする中期経営計画『ATSUGI VISION 2024』において、「顧客視点に立脚した価値創りへのシフト」、「ブランド力強化による市場ポジションの明確化」、「企業風土改革による強い組織力の実現」、「従前発想から脱却したビジネスモデルの実現」の4つの課題を掲げ、それぞれの課題に対する戦略を推進してまいりました。あわせて、企業ブランド強化策の一環として、「肌と心がよろこぶ、今と未来へ。」をパーパスに、「肌心地から、感動を生み出す フィールウェアのアツギへ。」をビジョンに制定し、グループ一丸となってこれらを実現するための取り組みを進めております。

当連結会計年度は、重点取組項目であるD2C (Direct to Consumer) での販売において、顧客目線での商品企画・開発を行った新たなアイテムの展開や、オペレーション体制の強化により自社オンラインショップ及びECモールでの売上が拡大いたしました。また、Z世代向けの商品を発売するなど新たな顧客層拡大へ向けての取り組みが進みました。しかしながら、利益面においては、商品価格の一部見直しで改善を図りましたが、円安の進行による調達コストの上昇、原燃料価格や物流費の高止まり、人件費の上昇、中国自社工場における生産設備移設に伴う稼働率低下等の要因により、厳しい状況で推移いたしました。これに加えて、営業損益及び経常損益が減少し繊維事業における収益性が低下したこと、保有資産の有効活用や生産拠点再編等の事業構造改革を実施したこと、同事業に係る固定資産の減損損失及び中国生産子会社の人員整理に伴う費用1,826百万円を事業構造改善費用として特別損失に計上いたしました。また、『ATSUGI VISION 2024』において掲げた政策保有株式の縮減方針に則り、政策保有株式の売却を進めたことによる投資有価証券売却益1,772百万円及び投資有価証券売却損8百万円を特別利益及び特別損失に計上しております。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は21,880百万円（前年同期比3.2%増）、営業損失は930百万円（前年同期は425百万円の損失）、経常損失は233百万円（前年同期は51百万円の損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は376百万円（前年同期は1,331百万円の利益）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次のとおりであります。

〔繊維事業〕

レッグウェア分野は、記録的な猛暑による販売時期の遅れ等から秋冬商品が苦戦したものの、D2C (Direct to Consumer) 販売が拡大したことや、商品価格の見直しを実施したこと等により、同分野の売上高は11,613百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

インナーウェア分野は、新規アイテム及び取扱い先の拡大により紳士インナーウェアが堅調に推移したことや、D2C (Direct to Consumer) 販売におけるブラジャーや肌着の売上が順調であったことに加え、株式会社レナウンインクスの販売が好調であったことにより、同分野の売上高は9,011百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

一方で、繊維事業全般において、既存ルートの卸売り販売数量の減少、中国自社工場の移転及び工程集約に伴う稼働率の低下等による製造コストの上昇及びD2C (Direct to Consumer) 販売拡大に伴う一時的な経費増加等が減益要因となりました。

これらの結果、当事業の売上高は20,625百万円（前年同期比3.1%増）、営業損失は1,378百万円（前年同期は821百万円の損失）となりました。

〔不動産事業〕

保有資産の有効活用を進めており、2024年10月より神奈川県海老名市に所有する土地の賃貸を開始したことにより、当事業の売上高は638百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は485百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

〔その他〕

その他の事業につきましては、太陽光発電による売電は堅調に推移しました。認知症高齢者向け介護施設であるグループホームも堅調に推移しましたが、介護用品の販売は苦戦しました。これらの結果、当事業の売上高は616百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は81百万円（前年同期比36.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は40,847百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,166百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産の増加2,761百万円、現金及び預金の増加1,535百万円、投資有価証券の減少2,373百万円、無形固定資産の減少1,169百万円、棚卸資産の減少1,032百万円及び流動資産のその他の減少784百万円等によるものであります。

負債の部は9,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ611百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金金の増加617百万円、流動負債のその他の増加592百万円、固定負債のその他の増加525百万円、繰延税金負債の減少633百万円及び長期借入金の減少439百万円等によるものであります。

純資産の部は31,662百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,778百万円減少いたしました。これは主に、その他の包括利益累計額の減少1,400百万円及び親会社株主に帰属する当期純損失376百万円の計上による利益剰余金の減少等によるものであります。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は、前連結会計年度末の79.6%から77.5%となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、事業構造改革費用1,826百万円及び棚卸資産の減少1,010百万円等による増加、投資有価証券売却益1,763百万円及び税金等調整前当期純損失377百万円等による減少により、415百万円の収入となりました。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入3,080百万円、補助金の受取額549百万円及び有形固定資産の取得による支出2,807百万円等により、719百万円の収入となりました。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入617百万円及び長期借入金金の返済による支出470百万円等により53百万円の収入となりました。

この結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,504百万円増加し、5,354百万円となりました。

(4) 今後の見通し

当社グループは、2023年3月期から2025年3月期までを実行期間とする中期経営計画『ATSUGI VISION 2024』において、「顧客視点に立脚した価値創りへのシフト」、「ブランド力強化による市場ポジションの明確化」、「企業風土改革による強い組織力の実現」、「従前発想から脱却したビジネスモデルの実現」を4つの課題として掲げ、それらの課題に対する戦略である「付加価値の最大化」、「コスト構造改革」、「資本の効率化」、「組織改革（人的資本への投資）」に取り組むことにより黒字転換を図り、さらには将来の持続的成長のための安定した財務基盤の確立を目指し、これまで生産拠点の海外集約や商品の価格見直し等の各種施策を実行してまいりました。

当連結会計年度においては、重点取組項目であるD2C（Direct to Consumer）事業の拡大等において一定の成果が見られたものの、収益面では原材料・エネルギー・人件費等のコスト上昇及び円安進行による調達コスト上昇の影響により、営業損益の黒字化には至りませんでした。これに加えて、繊維事業における収益性の低下及び保有資産の有効活用や生産拠点再編等の事業構造改革実施に伴い、同事業に係る固定資産の減損損失及び中国生産子会社の人員整理に伴う費用を事業構造改善費用に計上したこと等で親会社株主に帰属する当期純損失となり、掲げていた経営目標は未達となりました。

こうした状況を踏まえ、当社グループは一刻も早い業績回復と企業体質の強化を実現するべく、収益構造の再構築を行うとともに、顧客視点に立脚した高付加価値商品の拡大、市場における競争力の強化、人的資本経営の推進に取り組む所存でございますが、直近の世界情勢のめまぐるしい変化、国内景気の不安定さ、消費マインドの著しい変化等の不確実性を考慮した結果、新中期経営計画につきましては、グループ全体の業績目標の設定、今後の事業展開や財務面への影響に関して抜本的な見直しや検討が必要であることから、公表を延期する判断をいたしました。現在、慎重に検討を行っており、内容が整い次第、速やかに公表させていただきます。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、2018年まではインバウンド特需もあり営業利益を計上しておりましたが、その後の特需の激減、2020年からの新型コロナウイルス感染症を境にレグウェア需要は年々減少傾向にあります。円安の進行、原材料費の上昇、物流費の高止まり、人件費の持続的上昇等により製造原価が上昇したため、市場全般に物価上昇傾向が常態化した時点で、価格調整を実施しましたが、営業損益の黒字化となる水準までには至っていないことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況の下、販売面においては、一部商品価格の見直しの実施や、D2C (Direct to Consumer) 販売の拡大等を図ります。生産面においては、中国自社工場の移転に伴う新工場の稼働により、生産工程の自動化による生産効率の改善を図り、営業損失を解消させる計画であります。財務面においては当連結会計年度末での現金及び預金残高は5,406百万円、自己資本比率は77.5%と、いずれも高い水準にあります。

以上の状況により、継続企業の前提に重要な不確実性が認められないと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,870	5,406
受取手形及び売掛金	4,185	4,311
商品及び製品	5,010	4,229
仕掛品	1,072	995
原材料及び貯蔵品	652	477
その他	2,220	1,435
貸倒引当金	△26	△22
流動資産合計	16,983	16,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,364	12,035
減価償却累計額	△8,725	△8,827
建物及び構築物(純額)	1,639	3,208
機械装置及び運搬具	12,466	13,390
減価償却累計額	△10,561	△10,048
機械装置及び運搬具(純額)	1,905	3,342
土地	11,982	12,745
建設仮勘定	1,216	154
その他	561	516
減価償却累計額	△489	△390
その他(純額)	72	126
有形固定資産合計	16,815	19,577
無形固定資産		
土地使用権	430	413
ソフトウェア	107	83
ソフトウェア仮勘定	1,126	1
その他	4	1
無形固定資産合計	1,669	499
投資その他の資産		
投資有価証券	6,076	3,702
繰延税金資産	25	—
その他	443	234
投資その他の資産合計	6,544	3,937
固定資産合計	25,030	24,014
資産合計	42,014	40,847

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,434	1,365
短期借入金	—	617
1年内返済予定の長期借入金	470	439
未払法人税等	135	146
賞与引当金	44	53
その他	2,020	2,612
流動負債合計	4,104	5,236
固定負債		
長期借入金	439	—
繰延税金負債	1,578	944
再評価に係る繰延税金負債	1,286	1,324
退職給付に係る負債	894	883
その他	270	795
固定負債合計	4,468	3,948
負債合計	8,572	9,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	10,272	10,272
利益剰余金	△734	△1,110
自己株式	△1,468	△1,470
株主資本合計	28,069	27,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,172	1,357
繰延ヘッジ損益	785	384
土地再評価差額金	388	351
為替換算調整勘定	2,025	1,878
その他の包括利益累計額合計	5,371	3,971
純資産合計	33,441	31,662
負債純資産合計	42,014	40,847

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	21,209	21,880
売上原価	14,359	14,938
売上総利益	6,849	6,942
販売費及び一般管理費	7,275	7,873
営業損失(△)	△425	△930
営業外収益		
受取利息及び配当金	176	149
為替差益	119	429
リース解約益	—	59
その他	96	133
営業外収益合計	393	772
営業外費用		
支払利息	9	27
租税公課	1	25
その他	7	21
営業外費用合計	19	75
経常損失(△)	△51	△233
特別利益		
固定資産売却益	1,329	—
投資有価証券売却益	643	1,772
受取保険金	20	—
特別利益合計	1,992	1,772
特別損失		
盗難損失	18	—
固定資産売却損	10	0
固定資産除却損	1	81
投資有価証券売却損	—	8
事業構造改善費用	—	1,826
特別損失合計	31	1,916
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	1,909	△377
法人税、住民税及び事業税	446	170
法人税等調整額	131	△172
法人税等合計	577	△1
当期純利益又は当期純損失(△)	1,331	△376
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	1,331	△376

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	1,331	△376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	332	△814
繰延ヘッジ損益	373	△400
土地再評価差額金	—	△37
為替換算調整勘定	462	△147
その他の包括利益合計	1,168	△1,400
包括利益	2,500	△1,776
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,500	△1,776

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	20,000	10,272	△2,076	△1,466	26,728
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			1,331		1,331
自己株式の取得				△1	△1
連結範囲の変動			10		10
その他			△0		△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,341	△1	1,340
当期末残高	20,000	10,272	△734	△1,468	28,069

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,839	411	388	1,563	4,203	30,932
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益						1,331
自己株式の取得						△1
連結範囲の変動						10
その他						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	332	373	—	462	1,168	1,168
当期変動額合計	332	373	—	462	1,168	2,508
当期末残高	2,172	785	388	2,025	5,371	33,441

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	20,000	10,272	△734	△1,468	28,069
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△376		△376
自己株式の取得				△2	△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△376	△2	△378
当期末残高	20,000	10,272	△1,110	△1,470	27,690

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,172	785	388	2,025	5,371	33,441
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△376
自己株式の取得						△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△814	△400	△37	△147	△1,400	△1,400
当期変動額合計	△814	△400	△37	△147	△1,400	△1,778
当期末残高	1,357	384	351	1,878	3,971	31,662

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	1,909	△377
減価償却費	429	676
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	9
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△72	△10
受取利息及び受取配当金	△176	△149
支払利息	9	27
リース解約益	—	△59
投資有価証券売却損益(△は益)	△643	△1,763
受取保険金	△20	—
盗難損失	18	—
事業構造改善費用	—	1,826
有形固定資産除却損	1	81
有形固定資産売却損益(△は益)	△939	0
無形固定資産売却損益(△は益)	△378	—
売上債権の増減額(△は増加)	138	△140
棚卸資産の増減額(△は増加)	△765	1,010
仕入債務の増減額(△は減少)	△609	△11
未払消費税等の増減額(△は減少)	111	84
その他	△109	△629
小計	△1,092	570
利息及び配当金の受取額	180	149
利息の支払額	△6	△23
保険金の受取額	20	—
盗難損失に係る支払額	△18	—
事業構造改善費用の支払額	—	△103
法人税等の支払額	△427	△176
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,344	415
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△41	△72
定期預金の払戻による収入	62	41
有形固定資産の取得による支出	△1,280	△2,807
有形固定資産の売却による収入	586	251
無形固定資産の取得による支出	△873	△253
無形固定資産の売却による収入	276	78
投資有価証券の取得による支出	△34	△33
投資有価証券の売却による収入	1,760	3,080
補助金の受取額	—	549
貸付けによる支出	△0	—
貸付金の回収による収入	0	—
その他	—	△116
投資活動によるキャッシュ・フロー	456	719

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△0	—
自己株式の取得による支出	△1	△2
短期借入れによる収入	—	617
長期借入金の返済による支出	△470	△470
リース債務の返済による支出	—	△91
財務活動によるキャッシュ・フロー	△472	53
現金及び現金同等物に係る換算差額	460	317
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△899	1,504
現金及び現金同等物の期首残高	4,749	3,850
現金及び現金同等物の期末残高	3,850	5,354

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

当連結会計年度において、当社の連結子会社であった煙台厚木針織有限公司、厚木靴下(煙台)有限公司は、当社の連結子会社である煙台阿姿誼靴下有限公司を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当連結会計年度の期首から適用しております。なお、これによる連結財務諸表及び1株当たり情報への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当連結会計年度の期首から適用しております。なお、これによる連結財務諸表及び1株当たり情報への影響はありません。

(棚卸資産の評価方法の変更)

当社の連結子会社である株式会社レナウンインクスにおける商品及び製品の評価方法については、従来、先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しておりましたが、当連結会計年度より移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)に変更しております。

この評価方法の変更は、システムの変更を契機に、連結グループ会計処理統一の観点から評価方法を見直したことに伴うものであります。

なお、当該会計方針の変更が過去の期間に与える影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、レッグウェアの製造販売を主要な事業として展開しており、「繊維事業」「不動産事業」を報告セグメントとしております。

「繊維事業」は、主にレッグウェア、インナーウェアの製造及び販売を行っております。「不動産事業」は、分譲土地の購入及び販売、土地及び建物の賃貸事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は損失ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レッグウェア	11,365	—	11,365	—	11,365	—	11,365
インナーウェア	8,638	—	8,638	—	8,638	—	8,638
その他	—	21	21	624	645	—	645
顧客との契約から生じる収益	20,004	21	20,025	624	20,649	—	20,649
その他の収益	—	559	559	—	559	—	559
外部顧客への売上高	20,004	580	20,584	624	21,209	—	21,209
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	20,004	580	20,584	624	21,209	△0	21,209
セグメント利益又は損失(△)	△821	422	△399	60	△338	△86	△425
セグメント資産	29,542	6,532	36,075	1,135	37,210	4,803	42,014
その他の項目							
減価償却費(注) 4	354	20	374	46	421	7	429
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,748	16	1,765	2	1,768	3	1,772

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レッグウェア	11,613	—	11,613	—	11,613	—	11,613
インナーウェア	9,011	—	9,011	—	9,011	—	9,011
その他	—	—	—	616	616	—	616
顧客との契約から生じる収益	20,625	—	20,625	616	21,242	—	21,242
その他の収益	—	638	638	—	638	—	638
外部顧客への売上高	20,625	638	21,264	616	21,880	—	21,880
セグメント間の内部売上高又 は振替高	1	—	1	—	1	△1	—
計	20,626	638	21,265	616	21,882	△1	21,880
セグメント利益又は損失（△）	△1,378	485	△893	81	△811	△119	△930
セグメント資産	28,584	10,510	39,095	1,119	40,214	632	40,847
その他の項目							
減価償却費（注）4	596	28	625	43	668	7	676
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	3,203	763	3,966	—	3,966	134	4,101

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営及び太陽光発電による売電であります。

2. 調整額の内容は、以下のとおりです。

セグメント利益又は損失

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社費用	△86	△119
合計	△86	△119

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物（転用を検討中の土地・建物を含む）に係る費用であります。

セグメント資産

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産	4,803	632
合計	4,803	632

※ 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物（転用を検討中の土地・建物を含む）及び長期投資資金（投資有価証券）であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

4. 減価償却費には、長期前払費用に係る償却額が含まれております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	繊維事業	不動産事業	計			
減損損失	1,723	－	1,723	－	－	1,723

(注) 繊維事業において、収益性の低下等により投資額の回収が見込めなくなった事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減損処理しております。これらの結果、繊維事業において1,723百万円の減損損失を計上しております。なお、減損損失は、事業構造改善費用に含めて表示しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	2,087.43円	1,976.74円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	83.12円	△23.49円

- (注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	1,331	△376
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	1,331	△376
普通株式の期中平均株式数 (千株)	16,021	16,018

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	33,441	31,662
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	33,441	31,662
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	16,020	16,017

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	854	2,768
受取手形	73	60
売掛金	2,730	2,780
商品及び製品	4,397	3,482
原材料及び貯蔵品	32	49
前払費用	47	65
その他	1,996	1,062
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	10,129	10,267
固定資産		
有形固定資産		
建物	733	349
構築物	21	5
機械及び装置	497	299
車両運搬具	0	0
土地	11,982	12,745
建設仮勘定	47	15
その他	24	11
有形固定資産合計	13,307	13,428
無形固定資産		
ソフトウェア	92	5
ソフトウェア仮勘定	1,068	0
その他	1	0
無形固定資産合計	1,162	6
投資その他の資産		
投資有価証券	6,076	3,702
関係会社株式	136	136
関係会社出資金	5,023	6,723
関係会社長期貸付金	5,491	5,409
長期前払費用	25	11
その他	79	187
貸倒引当金	△3,455	△3,588
投資その他の資産合計	13,377	12,583
固定資産合計	27,847	26,017
資産合計	37,977	36,285

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	232	131
買掛金	1,604	1,632
1年内返済予定の長期借入金	470	439
未払金	279	603
未払費用	67	123
未払法人税等	99	121
前受金	52	66
預り金	12	12
賞与引当金	40	49
その他	577	406
流動負債合計	3,437	3,586
固定負債		
長期借入金	439	—
繰延税金負債	1,208	722
再評価に係る繰延税金負債	1,286	1,324
退職給付引当金	624	626
その他	248	327
固定負債合計	3,808	3,001
負債合計	7,245	6,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金		
資本準備金	4,951	4,951
その他資本剰余金	3,890	3,890
資本剰余金合計	8,841	8,841
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	22	19
繰越利益剰余金	△12	287
利益剰余金合計	9	307
自己株式	△1,522	△1,525
株主資本合計	27,328	27,623
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,158	1,343
繰延ヘッジ損益	857	380
土地再評価差額金	388	351
評価・換算差額等合計	3,404	2,074
純資産合計	30,732	29,698
負債純資産合計	37,977	36,285

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	13,707	14,111
売上原価	9,514	9,512
売上総利益	4,193	4,599
販売費及び一般管理費	4,764	5,531
営業損失(△)	△570	△931
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	542	1,135
受取賃貸料	52	29
為替差益	9	345
その他	44	10
営業外収益合計	649	1,521
営業外費用		
支払利息	6	5
固定資産賃貸費用	42	14
租税公課	1	25
貸倒引当金繰入額	181	133
その他	3	12
営業外費用合計	234	191
経常利益又は経常損失(△)	△156	397
特別利益		
投資有価証券売却益	643	1,772
受取保険金	20	—
特別利益合計	663	1,772
特別損失		
盗難損失	18	—
固定資産売却損	10	—
固定資産除却損	0	35
投資有価証券売却損	—	8
関係会社株式評価損	38	—
事業構造改善費用	—	1,703
特別損失合計	68	1,747
税引前当期純利益	439	422
法人税、住民税及び事業税	40	125
法人税等合計	40	125
当期純利益	398	297

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金					
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
					固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	20,000	4,951	3,890	8,841	25	△413	△388	△1,521	26,931	
当期変動額										
固定資産圧縮積立金の取崩					△2	2	—		—	
当期純利益						398	398		398	
自己株式の取得								△1	△1	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	△2	401	398	△1	396	
当期末残高	20,000	4,951	3,890	8,841	22	△12	9	△1,522	27,328	

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,825	512	388	2,727	29,658
当期変動額					
固定資産圧縮積立金の取崩					—
当期純利益					398
自己株式の取得					△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	332	344	—	677	677
当期変動額合計	332	344	—	677	1,073
当期末残高	2,158	857	388	3,404	30,732

当事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								自己株式	株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金					
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余 金合計	その他利益剰余金		利益剰余 金合計			
					固定資産 圧縮積立 金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	20,000	4,951	3,890	8,841	22	△12	9	△1,522	27,328	
当期変動額										
固定資産圧縮積立金の 取崩					△2	2	—		—	
当期純利益						297	297		297	
自己株式の取得								△2	△2	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	△2	300	297	△2	295	
当期末残高	20,000	4,951	3,890	8,841	19	287	307	△1,525	27,623	

	評価・換算差額等				純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	繰延ヘッ ジ損益	土地再評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	2,158	857	388	3,404	30,732
当期変動額					
固定資産圧縮積立金の 取崩					—
当期純利益					297
自己株式の取得					△2
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△814	△477	△37	△1,329	△1,329
当期変動額合計	△814	△477	△37	△1,329	△1,034
当期末残高	1,343	380	351	2,074	29,698